

新しい年を迎えました。休み明けも

元気に登園してきた子どもたちです。今年も元気いっぱい遊び、たくさん食べてぐすり眠り、笑顔いっぱい過ごしていきたいと思ひます。

。。。園内散歩。。。

雪が降ったり、風が強かったりととても寒い日は保育園の中を散歩しています。「おでかけしよう」と言うと外に行くと思ひ、帽子がかけてある所へ行く子どももいます。保育室を出ると階段を降り給食室を覗いてみます。すると給食室の先生たちが野菜を刻んだり、大きなお鍋にたくさん入った具を混ぜたりする姿が見えます。子どもたちは窓越しにその様子をじっと見つめています。すると給食室の先生が気づき、手を振ったり窓の近くまで来て今日使う食材を見せたり、目の前で具材を混ぜる所を見せたり、美味しそう匂いもして「早く給食食べたいねえ」「今日は鶏肉だぞ」と食べることに期待を膨ませつつ次は玄関へ...すると子どもたちは外へ行くと思ひ靴箱から自分の靴を出して履こうとします。



「お外は行かないよ〜」と靴を片付けるように声を掛けています。職員室から園長先生や森先生が「何してるの〜?」と様子を見に出できます。子どもたちは手を振ったり人見知りをして固まったり、「おいで〜」と言ってもらって抱っこしてもらったり...様々な反応があります。そろそろ保育室に戻ると階段を登っていると、今度は3階から降りてきた幼児クラスの子どたちが「〇〇ちゃん」と言ったり「バイバイ」といい実組の子どもたちに優しく声を掛けます。こうして知っている場所や人が少しずつ増えて世界がゆくりと広がっている子どもたちです。

。。。指先を使う。。。

今までは給食を食べる時に手全体を使って握るように食べていました。何度も手づかみで手を動かすことを経験していくうちに手先だけを使って食べるようになってきます。細かな物も人差し指と親指でつまんで取ろうとしています。遊びの中でも月齢の大きい子どもはポットン落としやシール貼りをしたり月齢の小さい子どもは布を引っ張る、つかむことやルーピングで小さな玉を動かしたりしています。思うようにできないと怒って泣いたりおもちゃを投げたりすることもあります。友だちの姿や保育者の励ましでもう一度やってみようとしています。繰り返し指先を使い、自由に動かせるようになることでスプーンを正しく持つ→お箸も自然と正しく持つことに繋がっていきます。楽しんでたくさん経験を積み重ねていきなさいと思ひます。

# いい実・たんぽぽ・みずぐみ

## ワラスだより 1月

新しい一年を迎えることができました。

コロナのこともあり、新年、元気な子どもたちに会えたことを感謝します。これからも、感染予防に努め、安心して過ごせる日を待ち、子どもたちと一日一日を楽しく過ごしていきたいと思ひます。

### たんぽぽぐみ

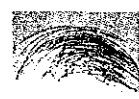
お正月休みが明け、久しぶりの登園もあまりいつもと変わらず、笑顔で登園する姿に、子どもたちにとって保育園が安心の場所になってきたことを感じます。寒さも厳しいですが、戸外で冬の澄んだ空気を肌で感じ、身体を動かして元気にあそんでいます。又、室内での運動あそびも楽しんできました。保育室に戸板のぼり、ジャンプ台、鉄棒、一本橋、竹の棒ぐりを設置すると自分のやってみたい場所へ行きやってみます。足の親指をしっかりと使って登ること、両足でとぶこと、指先に力を入れて体重を支えること、バランス感覚や体幹を強くしてしなやかな身体を作ること大切に進めています。自分の身体の使い方を失って「できた!できた!」が自信になり、「楽しいからもう、とやってみよう!」につながっていきなさいと思ひます。

### 描くこと

手を使って色々な変化させる素材(泥や小麦粉など)に関わっていく感覚あそびを基礎礎にして、道具を使って働きかける活動の一つである描くあそびも進めています。ペンや絵の具(筆)、又、クレパスを使い、自由にのびのびと描く姿もあれば、いざ画用紙を目の前にすると戸惑い、保育者の顔を見てそと描き出す姿、画用紙いっぱい描いたり、友だちとトントン点を打ち楽しいを共有したりと色々な姿があります。なによりもまず、絵を描くことが楽しいと思えるよう、子どもたちに向き合っています。1歳クラスでは描くあそびを通して点や往復線、ぐるぐる線、画面把握(用紙の大きさや四隅を認識する)や描く姿勢など描画表現の言語要素を発見していく時期です。手の働きをコントロールするかも育てきます。制作展が一人ひとりの個性やのびのびと表現する様子を感じて頂ける機会になればと思ひます。



1歳頃 「点々」



1歳前半 「弧状の往復線」



1歳後半 「連続したぐるぐる」



2歳頃 「独立したぐるぐる」



2歳すぎ 「ぐるぐるを「ほがさん」に見せて

### みずぐみ



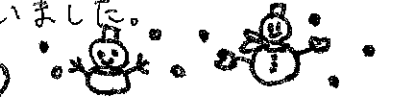
厳しい寒さが増す中でも園庭に出ると「走ろう!」と誘ってくる子ども、泥でおままごやおだんご作りをしよう誘ってくる子どももいます。そして頬や鼻を赤らめて元気に過ごしている子どもたちです。ちらちら降っている雪を見て♪雪やこんこんを歌っています。散歩先で氷がはまっていると触って、始めはおそろおそろ手をつけてみたり、食べてみたくなったりと興味津々の子どもたちです。冬ならではの遊びや楽しみを見つけて、今年度もあと2ヶ月を1日1日の子どもたちの成長を大切に過ごしていきたいと思ひます。

### こまあそび



お正月が明けて保育が始まり、すぐにこま作りをしました。まず好きな色の折り紙を一枚選び小さく小さくちぎっていきます。子どもたちがちぎった折り紙を集めます。そしてこまに木工用ボンドで貼っていきます。「〇〇はピンク!」「ブルーがいいなあ〜」など言って次々と貼っていきます。出来上がったこまを回すと、それぞれ見え方が違って「ブルーが見える」「オレンジ!」など、こまがきれいな色になるのを楽しんで回していました。

### 自分でやってみよう!



「自分でやりたい!」という気持ちが高まる時期です。やってみよう!という気持ちが大切にされ「できたこと」をいっしょに喜んでもらえることで子どもは自信を持つことができます。またできなかったことへの気持ちが受け止められていくことで安心してやってみようとするのです。このことを心にとめて、やりたい半面やってみようと思ひながら、苛立ち、もどかしい気持ちになることがありますが、この体験をくり返して、着脱が身に付き、身の自立につながっていきます。

### お願い



寒さに合わせて、トレーナー、長ズボン上着を着たりはいたりして、戸外へ出ます。毎日どれも1枚は引き出しに入れておいてください。そして誰のものか分かるように名前を書いてください。よろしくお願ひいたします。